

2022年4月28日

各位

会社名 前澤化成工業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 久保 淳一
 (コード番号 7925 東証プライム市場)
 問合せ先 上席執行役員管理本部長 齋藤 巖

(TEL 03-5962-0711)

**連結子会社における固定資産の減損損失（連結）および関係会社株式評価損（個別）の計上
 ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2022年3月期（2021年4月1日～2022年3月31日）におきまして、固定資産の減損損失（連結）を計上する見込みとなり、当社個別財務諸表において関係会社株式評価損（個別）を計上する見込みとなりましたのでお知らせいたします。また、これに伴い2021年5月13日に公表いたしました通期業績予想も下記のとおり修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失（連結）について

当社の連結子会社である株式会社新潟成型は、各種プラスチック製品の受注生産・販売を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響に伴う市場環境の悪化を受けて、前年度から受注が低迷しております。直近の業績の動向等を踏まえ将来の回収可能性を慎重に検討した結果、同社が保有する固定資産（土地・建物・機械設備等）の帳簿価格を回収可能価額まで減額し、減損損失として3億95百万円（金額は概算）を特別損失に計上する見込みです。

2. 関係会社株式評価損（個別）について

当社の連結子会社である株式会社新潟成型において、上記のとおり固定資産の減損損失を計上することに伴い当社が保有する当該子会社株式の実質価値が著しく低下する見込みとなるため、「関係会社株式評価損」として5億70百万円（金額は概算）を計上する見込みとなりました。

なお、当該「関係会社株式評価損」は当社の個別財務諸表にのみ計上されるものであり、連結決算においては消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 連結業績予想の修正

(1) 2022年3月期 通期連結業績予想数値（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	21,230	1,080	1,295	840	56.68
今回発表予想 (B)	21,879	1,342	1,628	797	53.77
増減額 (B-A)	649	262	333	△42	-
増減率 (%)	3.1	24.3	25.7	△5.1	-
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	20,985	929	1,232	755	50.99

(2) 修正の理由

当社の取り扱っている製品は、主に住宅の水回りに関連した上水道・下水道の整備に用いられることから、業績は新設住宅着工戸数の動向による影響を大きく受けます。2022年3月期の住宅着工戸数について当初は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や資材価格の高騰などの影響から、低調に推移するものと想定しておりましたが、コロナ禍での住宅需要の高まりと政府による各種住宅取得支援策などを受けて、堅調に推移いたしました。その結果、売上高・営業利益・経常利益については前回発表予想を上回る見込みとなりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益については、「1. 固定資産の減損損失（連結）について」に記載のとおり特別損失として3億95百万円を計上する見込みであることから、前回発表予想を下回る見込みです。

4. 個別業績予想の修正

(1) 2022年3月期 通期個別業績予想数値 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,770	1,295	840	56.68
今回発表予想 (B)	20,711	1,634	613	41.40
増減額 (B - A)	941	339	△226	-
増減率 (%)	4.8	26.3	△26.9	-
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	19,817	1,325	854	57.67

(2) 修正の理由

売上高および経常利益の主な修正理由については、上記「3. 連結業績予想の修正 (2) 修正の理由」に記載のとおりであり、当期純利益の修正理由につきましても、「2. 関係会社株式評価損 (個別) について」に記載のとおりでございます。

5. 配当予想

2021年5月13日に公表いたしました配当予想からの変更はございません。

以上